

# 平成16年度

# 予算を可決

平成16年度一般会計予算および水道事業会計予算は、それぞれ賛成多数で原案のとおり可決しました。9事業の特別会計予算についても賛成多数で原案のとおり可決しました。

なお、平成16年度予算を可決するにあたっては、各党派代表の議員（7人）が総括質疑を行うとともに、予算特別委員会（委員14人で構成）を設置し、2日間にわたり、慎重に審査を行いました。総括質疑における、主な質疑に対する市当局の答弁は、次のとおりです。

## 平成十六年度 予算の特徴は

**答弁** 新年度予算は、歳入の減少など厳しい状況が予測されたため「行財政改革及び予算編成方針」と銘打ち、義務的経費以外の経

**賛成討論**  
長引く不況下、市税や地方交付税の減少などで前年度予算を下回る厳しい財政状況ではあるが、多様化する行政ニーズに対して、優先させるべき施策を選択し政策立案している。最優先課題として地域産業の活性化に力を入れ、北関東産学官研究会もようやく成果が表れはじめたほか、特別養護老人ホームの待機者解消の促進、本町六丁目団地の建設、中通り大橋線の整備、小学校普通教室に扇風機を順次設置するなど、それぞれの施策が市民サイドに立った予算編成であり評価できる。

## 雇用対策は

**答弁** 地場産業の繊維産業をはじめ、機械金属等本市のものづくり産業育成支援に向けた新製品開発支援や販路開拓支援に努め、企業の活性化に合わせた雇用の確保に努めている。新年度は、中小繊維製造事業者自立化支援事業への取り組みを推進し、新たな事業展開を支援することで、雇用の創出に結び付けたい。今後、桐生公共職業安定所や商工会議所等との連携を

図り、雇用の拡大に努めていきたい。

## 中通り大橋線は

**答弁** 平成十五年度より渡良瀬川左岸側の電線類の地中化工事を、南小学校協交差点から新宿通り交差点までの区間に着手しており、平成十六年度は新宿南線までの区間に電線類の地中化工事を進める予定である。なお、橋りょう部は、道路橋梁の詳細設計が完了することから、下部工事に着手すべく、国土交通省と協議を進めていく。

## 学校適正配置は

**答弁** 市民十九人の委員で構成された学校適正数・適正配置検討委員会では、

**反対討論**  
市民の暮らしを守り改善しようとする努力は一部評価できるが、国の方針に従ってサービスの削減や負担増を市民に押し付けるものであり、医療、福祉、教育などの財源の保証を国に強く求める姿勢が不十分である。新里村と黒保根村との合併についても、財政やまちづくりの計画の十分な情報提供がなく、市民の合意がない。国保税滞納者から被保険者証の取り上げや教育支援策が不十分などのほか、地域の環境整備等やるべき施策はたくさんあり、多くの課題があるので賛成できない。

## 第一回臨時会

平成十六年第一回臨時会が、一月三十日に招集され、一日間の会期で開かれました。

この臨時会では、桐生市、新里村、黒保根村の一市二村により、合併による新市の建設に関する会議を八回開催し、今後の学級数、教職員数、通学区、教室数等様々な観点から、学校適正配置に向けた具体的な検討を行っている。三月末には検討委員会としての結論を報告書にまとめ、市教育委員会に提出されることになる。

**原案可決（全員賛成）概要**  
桐生球場に電光掲示板を設置したことに伴い、電光掲示板一式を使用する場合の使用料は、一試合千九百円、得点表示使用の場合一試合八百八十円、メッセージ表示使用の場合一時間五百四十円とする。

**条例施行日**  
平成十六年四月一日

## 主な議案

この定例会で、可決された主な議案の要旨は、次のとおりです。

## 人事案件

市議会は、人事案件一件に同意しました。

## 固定資産評価審査委員会委員

森 喜美男 氏  
(再任)

## 体育施設に関する議案

○桐生市体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例案